【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2003-23669(P2003-23669A)
【公開日】平成15年1月24日(2003.1.24)
【出願番号】特願2001-207656(P2001-207656)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｑ　7/38
　Ｈ０４Ｍ　1/00
　Ｈ０４Ｍ　3/42
　Ｈ０４Ｍ　3/493
　Ｈ０４Ｍ　11/08
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｌ
　Ｈ０４Ｍ　1/00　Ｌ
　Ｈ０４Ｍ　3/42　Ｒ
　Ｈ０４Ｍ　3/493
　Ｈ０４Ｍ　11/08

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月2日(2004.9.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　無線回線を利用した通信を行う携帯電話装置であって、
　着信時、着信を知らせるための着信メロディを含む楽曲データを再生する再生手段と、
　前記着信時に表示装置上に表示させるキャラクタ画像のデータを格納した記憶手段と、
　着信時に前記記憶手段から読み出して前記表示装置上に表示されるキャラクタ画像に、前記着信メロディに合わせて所定の動作をさせる動作プログラムに基づいて前記所定の動作を行わせる制御手段と、
を備えることを特徴とする携帯電話装置。
【請求項２】
　請求項１に記載の携帯電話装置において、
　前記キャラクタ画像のデータを、前記無線回線を通じてデータサーバからダウンロードし、前記記憶手段に格納するデータ取得手段、
を備えることを特徴とする携帯電話装置。
【請求項３】
　請求項１または請求項２に記載の携帯電話装置において、前記記憶手段には、複数種類のキャラクタ画像のデータが格納されており、さらに、
　着信時に前記表示装置上に表示させるキャラクタ画像を利用者に選択させるとともに、その選択情報を設定情報として記憶する設定手段、
を備えることを特徴とする携帯電話装置。
【請求項４】
　請求項３に記載の携帯電話装置において、前記記憶手段には、キャラクタ画像に対してどのような動作をさせるかを規定した複数種類の動作データが格納されており、

前記設定手段は、
着信時に前記表示装置上に表示させるキャラクタ画像に、いずれの動作をさせるかを利用者に選択させるとともに、その選択情報を設定情報として記憶する手段、
を含むことを特徴とする携帯電話装置。
【請求項５】
請求項３または請求項４に記載の携帯電話装置において、
前記記憶手段には、複数種類の着信メロディのデータが格納されており、
前記設定手段は、
着信時に再生する着信メロディを利用者に選択させるとともに、その選択情報を設定情報として記憶する手段、
を含むことを特徴とする携帯電話装置。
【請求項６】
請求項３ないし請求項５のいずれかに記載の携帯電話装置において、前記判定部は、着信が、音声着信であるか、メール着信であるかを判定する手段を含んでおり、
前記設定手段は、音声着信時およびメール着信時それぞれにおいて、前記設定情報を記憶することを特徴とする携帯電話装置。
【請求項７】
請求項３ないし請求項６のいずれかに記載の携帯電話装置において、
前記設定手段は、電話帳データに登録されているメンバに対して、個別に、前記設定情報を記憶することを特徴とする携帯電話装置。
【請求項８】
音声データ、画像データ、文字データを含む各種データの送受信を基地局との間で行う無線部と、
少なくとも前記無線部に前記基地局から送信されるデータが着信した時に楽曲を再生する再生部と、
前記再生部が再生する楽曲データ、表示部に表示されるキャラクタを前記表示部において所定の動作をさせるための動作データを記憶する記憶部と、
前記無線部に着信が発生すると、前記楽曲データに合わせて、前記キャラクタを前記動作データに応じて前記表示部上で動作させる制御部と、
を設けたことを特徴とする携帯電話装置。
【請求項９】
前記制御部は、前記記憶部に記憶された楽曲データおよび動作データを、前記無線部に着信した着信データの種類が文字データであるか音声データであるか判断した結果に応じて選択的に読み出すことを特徴とする請求項８に記載の携帯電話装置。
【請求項１０】
前記制御部は、前記記憶部に記憶された楽曲データおよび動作データを、前記無線部に着信した着信の発信者に応じて選択的に読み出すことを特徴とする請求項８に記載の携帯電話装置。
【請求項１１】
無線回線を通じて通信を行う携帯電話装置であって、前記携帯電話装置の装置本体は２つ折りに折りたたみ可能な構造であり、
着信を判定する判定部と、
前記装置本体を折りたたみ状態と開いた状態との間で開閉動作させる駆動手段と、
着信時、前記駆動手段に対して、前記装置本体を開いた状態へと動作させる指示命令を送出する制御手段と、
着信時に前記指示命令を送出するか否かを設定情報として記憶する設定手段と、
を備えることを特徴とする携帯電話装置。
【請求項１２】
請求項１１に記載の携帯電話装置において、前記判定部は、音声着信およびメール着信を判定する手段を含んでおり、

前記設定手段は、音声着信時およびメール着信時それぞれにおいて、前記指示命令を送出するか否かを設定情報として記憶することを特徴とする携帯電話装置。
【請求項１３】
請求項１１または請求項１２に記載の携帯電話装置において、
前記設定手段は、電話帳データに登録されているメンバに対して、個別に前記設定情報を記憶することを特徴とする携帯電話装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
【課題を解決するための手段】
上記課題を解決するため、請求項１の発明は、無線回線を利用した通信を行う携帯電話装置であって、着信時、着信を知らせるための着信メロディを含む楽曲データを再生する再生手段と、前記着信時に表示装置上に表示させるキャラクタ画像のデータを格納した記憶手段と、着信時に前記記憶手段から読み出して前記表示装置上に表示されるキャラクタ画像に、前記着信メロディに合わせて所定の動作をさせる動作プログラムに基づいて前記所定の動作を行わせる制御手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
請求項２の発明は、請求項１に記載の携帯電話装置において、前記キャラクタ画像のデータを、前記無線回線を通じてデータサーバからダウンロードし、前記記憶手段に格納するデータ取得手段を備えることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
請求項３の発明は、請求項１または請求項２に記載の携帯電話装置において、前記記憶手段には、複数種類のキャラクタ画像のデータが格納されており、さらに、着信時に前記表示装置上に表示させるキャラクタ画像を利用者に選択させるとともに、その選択情報を設定情報として記憶する設定手段を備えることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項４の発明は、請求項３に記載の携帯電話装置において、前記記憶手段には、キャラクタ画像に対してどのような動作をさせるかを規定した複数種類の動作データが格納されており、前記設定手段は、着信時に前記表示装置上に表示させるキャラクタ画像に、いずれの動作をさせるかを利用者に選択させるとともに、その選択情報を設定情報として記憶する手段を含むことを特徴とする。
【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
請求項５の発明は、請求項３または請求項４に記載の携帯電話装置において、前記記憶手段には、複数種類の着信メロディのデータが格納されており、前記設定手段は、着信時に再生する着信メロディを利用者に選択させるとともに、その選択情報を設定情報として記憶する手段を含むことを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
請求項８の発明は、音声データ、画像データ、文字データを含む各種データの送受信を基地局との間で行う無線部と、少なくとも前記無線部に前記基地局から送信されるデータが着信した時に楽曲を再生する再生部と、前記再生部が再生する楽曲データ、表示部に表示されるキャラクタを前記表示部において所定の動作をさせるための動作データを記憶する記憶部と、前記無線部に着信が発生すると、前記楽曲データに合わせて、前記キャラクタを前記動作データに応じて前記表示部上で動作させる制御部とを設けたことを特徴とする。
請求項９の発明は、請求項８に記載の携帯電話装置において、前記制御部は、前記記憶部に記憶された楽曲データおよび動作データを、前記無線部に着信した着信データの種類が文字データであるか音声データであるか判断した結果に応じて選択的に読み出すことを特徴とする。
請求項１０の発明は、請求項８に記載の携帯電話装置において、前記制御部は、前記記憶部に記憶された楽曲データおよび動作データを、前記無線部に着信した着信の発信者に応じて選択的に読み出すことを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
請求項１１の発明は、無線回線を通じて通信を行う携帯電話装置であって、前記携帯電話装置の装置本体は２つ折りに折りたたみ可能な構造であり、着信を判定する判定部と、前記装置本体を折りたたみ状態と開いた状態との間で開閉動作させる駆動手段と、着信時、前記駆動手段に対して、前記装置本体を開いた状態へと動作させる指示命令を送出する制御手段と、着信時に前記指示命令を送出するか否かを設定情報として記憶する設定手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
請求項１２の発明は、請求項１１に記載の携帯電話装置において、前記判定部は、音声着信およびメール着信を判定する手段を含んでおり、前記設定手段は、音声着信時およびメール着信時それぞれにおいて、前記指示命令を送出するか否かを設定情報として記憶す

ることを特徴とする。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項１３の発明は、請求項１１または請求項１２に記載の携帯電話装置において、前記設定手段は、電話帳データに登録されているメンバに対して、個別に前記設定情報を記憶することを特徴とする。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８８】
請求項６または請求項１２記載の発明では、着信時の動作は、音声着信時、メール着信時、個別に設定可能であるので、着信動作設定にバリエーションを持たせることができる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８９】
請求項７または請求項１３記載の発明では、着信時の携帯電話装置の動作設定は、電話帳データに登録されているメンバに対して個別に設定可能であるので、着信動作設定にバリエーションを持たせることができる。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９０】
請求項８ないし請求項１０のいずれかに記載の発明では、無線部に着信が発生すると、楽曲データを再生させるとともに、キャラクタを動作データに応じて表示部上で動作させるので、着信時の動作に多様性を持たせることができる。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９１】
請求項１１記載の発明では、２つ折りに折りたたみ可能な装置本体に対して、着信時、装置本体を開く状態へと動作させるので、装置本体の物理的な動きによって着信を確実に認識することができる。